

今年もタンチョウの採食地の環境整備ボランティアを実施します

～JALグループはSDGsの達成に向け、生物多様性の保全に努めます～

JALグループは、公益財団法人 日本野鳥の会(以下「野鳥の会」と共同で、北海道を代表する鳥である「タンチョウ」の採食地の環境整備を北海道阿寒郡鶴居村にて今年も実施します。

当ボランティアは、「鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ」を運営する「野鳥の会」のレンジャー指導のもと、有志のJALグループ社員が全国から集まり、冬季給餌に頼らず自然の中でタンチョウが餌を取れる環境(冬期自然採食地)を維持する活動で、今年で9年目となります。



【昨年実施の様子】

記

【概要】

1. 実施日程: 2024年10月25日(金)
2. 場 所: 北海道阿寒郡鶴居村
3. 作業内容: タンチョウの餌資源となる生物を増やすことを目指し、繁茂したササを刈り斜面の藪も刈払い
タンチョウが川へ出入りしやすくします。また、タンチョウの移動の妨げになる樹木を除去します。

JALグループは、環境整備などの作業や自然観察を通じて、タンチョウや生物多様性保全への理解を深め、これからも社会・地域への貢献活動に取り組むことで、SDGsの達成に向け推進してまいります。

以上